

援助者の援助

支持的スーパービジョンの理論と実際

村田久行 著



川島書店

援助者の援助—支持的スーパービジョンの理論と実際

仕事の効率化、安全、マネジメントが職場の指標となり、福祉の理念や歴史が培ってきたさまざまな対人援助の思想が単なるスローガンに変質しつつある。"人の援助"が脇に追いやられている。

福祉・医療の現場には、解決できない問題、サービスでカバーできない苦しみが溢れており、それへの援助が真剣に考えられなければならない。しかし対人援助専門職は業務に埋没し、仕事の意味を失い、対人援助という豊かな仕事の報酬を得られないまま苦しんでいる。

対人援助の専門職性とは何か？ 業務としてでなく、どのように援助が実現できるのか？ これらの疑問に答える形で"援助者の援助"ができないだろうか。そしてそれを実現する支持的スーパービジョンが必要ではないか。